

地域密着型特別養護老人ホーム萩の風サテライト 令和元年度 第8回運営推進会議

開催日時 令和元年5月23日(木) 15:00 ~ 16:10

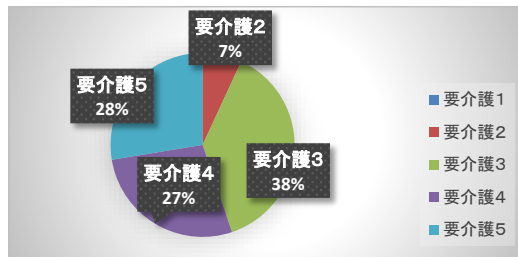
開催場所 地域密着型特別養護老人ホーム萩の風サテライト 多目的室

出席者	ご所属	氏名	参加
	利用者様のご家族	●●●●様	○
	利用者様のご家族	●●●●様	○
	民生児童委員	●●●●様	○
	沖野地域包括支援センター	●●●●様	○
	(有)福祉サポート仙台東	●●●●様	○
	萩の風サテライト 施設長	田中 伸弥	○
	萩の風サテライト 副施設長(管理者)	菅原 篤人	○
	萩の風サテライト 介護主任	菅原 涼蔵	○

1. 入居者状況 (令和元年5月15日現在) (単位:人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	0	0	2	3	1
女性	0	2	9	5	7
合計	0	2	11	8	8

入居者数29名 平均介護度3.75



2. 利用状況 令和元年5月15日現在

仙台市別受入れ状況(単位:人)

地域	若林区	宮城野区	泉区	太白区
平成31年3月まで	42	1	0	0
4月	2	0	0	0
5月	0	0	0	0
合計	44	1	0	0

若林区地域別受入れ状況(単位:人)

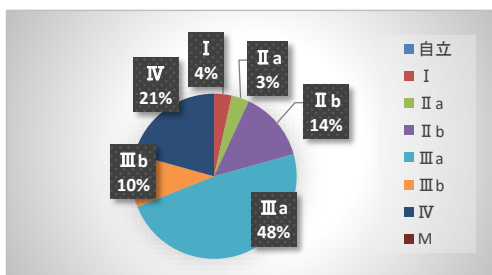
地域	上飯田	下飯田	沖野	今泉	日辺	若林	霞目	蒲町	遠見塚	古城	荒井	白萩町	中倉	卸町	石名坂
平成31年3月まで	4	1	18	4	1	3	1	1	1	1	2	1	1	1	0
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	1	18	4	1	3	1	1	1	1	2	1	1	1	1

認知症高齢者の日常生活自立度別の利用状況 (単位:人)

※認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判断基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	
II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態がみられる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
5月15日時点	0	1	1	4	14	3	6	0	29



入所希望者状況(月末時点※5月15日現在)

	3月	4月	5月	
入所待機者数(人)	77	78	78	平均77.7人
新規入居者数(人)	1	2	0	合計3人
入居者平均待機期間(月)	1.75	6	0	平均2.6ヶ月

退居者状況(月末時点※5月15日現在)

	3月	4月	5月	
退居者数(人)	2	1	0	合計3人
平均利用期間(月)	13.5	3.5	0	平均5.7ヶ月
退居理由	摂食障害にて長期療養1名、看取りにて逝去1名	心不全による入院長期療養にて1名	なし	

稼働率(月末時点※5月は見込み)

	3月	4月	5月	合計
稼働日数(日)	899	870	899	2668日
全体[延べ利用人数]	872	856	899	2627人(予定)
稼働率[入院者含む]	97.0%	98.4%	100.0%	平均98.5%(予定)
入院期間(日)	31	5	14	50日
入院理由	摂食障害1名、 右大腿骨頸部骨 折1名、心不全1 名	心不全1名 (月跨ぎ)、 尿路感染1 名	尿路感染1 名(月跨 ぎ)	4名の方が入院治療
稼働率[入院者除く]	93.5%	97.8%	98.4%	平均96.6%(予定)

3. 事故報告(平成31年3月16日 ~令和元年5月15日まで)

サービス提供中に起きた事故について報告します。

事故項目	件数(件)	詳細
転倒・転落	3	①ご本人のブレーキかけ忘れにて滑落 ②立てかけていた柵に掴まり、バランスを崩し転倒 ③車椅子から立上がりバランスを崩し転倒
誤飲・誤嚥	0	
外傷	2	①排泄介助中、職員が離れている間にご自分で掻いて表皮剥離 ②爪切りミス
入浴中の事故	0	
服薬事故	9	①夕食薬と朝食薬の内服ボックスを間違えて与薬 7件 ②他利用者様の薬を誤って与薬 2件
利用者様同士のトラブル	0	
離設	0	
その他	0	

事故の対応策

【転倒・転落】

- ①ブレーキのかけ忘れがないよう声掛けを行う
- ②外した策は利用者様が届かない所に置き、移乗後身体が安定姿勢になるまで目を離さない
- ③所在確認に意識を高め、把握に努める

【外傷】

- ①不足した物を取りに離れる際はオムツを閉じて布団を掛けて離れる
- ②爪を切りにくい場合は無理をしないこととニッパーを使用する

【服薬事故】

- ①②内服前、内服ボックスから取り出す際は、薬袋の名前、日付、タイミングの確認を常に徹底し、服薬介助を行う前にも必ず確認を行う

4. 身体拘束について

平成31年3月16日～令和元年5月15日において身体拘束を行った事案はございませんでした。

法務省人権擁護委員 常務委員 神春美様をお招きし、4月23日18:00～19:30にて「コミュニケーションを考えよう～コミュニケーションを良くし、高齢者の身体拘束などを防ごう～」をテーマに研修会を実施しました。

参加人数: 22名

アンケートより:

・難しい話かと思いましたが、とても面白く感じました。利用者様との関り方を聞き上手にならなければならないと思いました。

・コミュニケーションをよくし身体拘束等を防ぐというテーマを通して、高齢者や介護現場の状況等について学び、今回の内容を踏まえて自分のコミュニケーションは適切か考えたいと思いました。

・高齢者虐待とはという見出しを見て、身近であること、自分も見方を変えればもしかして…ということを考えてケアに当たりたいと思います。

・声掛け一つに対しても相手の受け止め方は違うため、相手の言葉違いに合わせてたりと気を付けていきたいと思いました。

・自分自身に置き換えて話す様心掛けたいと思います。高齢者との方々との関わりだけでなく、職員間でもコミュニケーションをうまくとり、よりよい環境作りができればよいと思います。

研修にて学びえたことを日々のケアに活かし、引き続きケアを行って参ります。

5. 苦情報告について

平成31年3月16日～令和元年5月15日において苦情事案はございませんでした。

6. 外出・行事活動報告(平成31年3月16日～令和元年5月15日まで)

外出や施設内での行事は下記の通りになっております。

日程	外出・行事	参加人数
3月18日	2階 卸町イオン外出	5名参加
3月20日	〇〇様誕生日パーティー	8名参加
3月25日	一階 名取エアリ外出	4名参加
3月31日	〇〇様誕生日パーティー	9名参加
4月3日	〇〇様誕生日パーティー	11名参加
4月5日、10日、11日、22日	一階 お花見外出	9名参加
4月12日	〇〇様誕生会	1名参加
4月18日、19日	二階 お花見外出	20名参加
4月27日	〇〇様誕生会	1名参加
5月10日	〇〇様誕生会	9名参加

行事予定表

日程	外出・行事	参加人数
5月16日	〇〇様誕生会	名参加
5月20日	二階塩釜外出	名参加
5月21日、24日	一階動物園外出	名参加
5月25日	沖野東小学校運動会	名参加
5月27日	居酒屋「わっしょい」	名参加
6月2日	衣類販売会	名参加
6月	慰問ボーカル	名参加
6月	一階おやつ作り	名参加
6月	二階動物園外出	名参加
7月	一階スイカ割り・流しそうめん	名参加
7月	二階スイカ割り	名参加

8. 施設より

菅原管理者: 前々回よりご指摘いただいております職員配置について、検討させていただき誰が見ても分かり易い、職員の顔写真付き配置票を全体とユニットに分けて掲示させていただきました。ご家族様や外部の方より高評価頂いております。これも皆様のご意見の結果であり誠にありがとうございます。今後も忌憚ないご意見をたくさんいただければと思います。

田中施設長: 本日は大変お忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。ただいま外出や行事の報告をさせて頂きましたが、私としては一緒に参加して頂ける家族様、計画から実行まで行う法人職員、そして日頃からご理解頂いている地域の方々々に心から感謝しております。当施設のように外出が当たり前に常日頃から行われている社会福祉法人はあまりないかと存じます。特養だからとあきらめたくはありません。特養に入っても、皆様に普通の暮らしを送って頂けるよう運営を行って参ります。先日ベトナムに行きまして。なぜかと申しますと外国人受け入れの為に組合を社会福祉法人5法人で創設しました。今後東北は、高齢者の数、働き手の数が減っていきます。ピークアウトしていないのは、東北では仙台だけです。そんな現状ですが、福祉業界を目指す学生は年々減ってきておられ、昨年度仙台の専門学校に通うネパールの実習生を受け入れました。職員は受け入れ前、不安もあったようですが、彼らは一生懸命に実習に取り組み、職員の不安も払拭されたようです。利用者様も一緒に笑顔で楽しませていました。組合設立において人材がいなくなっていくことはあくまできっかけの一つにすぎません。外国人の為にという理由もありますし、何より日本の若い世代へ「多様性」を育てたいとの思いが一番です。多様性は「多様性のあるところ」からしか生まれません。仙台の施設では当法人が先駆けて行っていきたくと考えており、外国人受け入れにおいては、住む場所、空き家の活用や、地域コミュニティの構築などで、町内会や民生委員の方のご理解とご協力を得ながら進めてまいりますのでお力添えお願いいたします。

9. 委員の皆様より

【民生児童委員 ●●様】

・色々と外出行事を行われていますが、利用者様の飲食代の負担はどうなっていますか？

副施設長菅原: 希望に応じての外出となっていますので、基本的には自己負担となります。その際は施設の食事は止めていますので、そちらの請求は発生しません。お好きなものを選んで食べて頂いております。入所時にお小遣いを月にどれくらい使用してよいのかなどを確認しております。また、ユニット費という名目で、各ユニットに月5000円の予算を用意しており、その中から誕生日の際の色紙やプレゼント代、外出時の飲食代の負担などをまかなっております。

・六郷も隣の地域なのに、あまり情報が入って来ないです。

施設長田中: 以前もお伝えしたように、法人名の変更を考えております。それに合わせてホームページなどを全てリニューアルを予定しており、専門家と一緒に現在進めている状況です。ですので、現在一部広報活動を控えています。リニューアルを終えて広報活動を行う際には、六郷地域も含めて行ってまいります。その際には、町内会や民生委員の方々のご協力いただき、進めて行ければと思います。

【利用者様ご家族 ●●様】

・テレビの持ち込みは可能でしょうか？

副施設長菅原: 可能でございます。

【福祉サポート仙台東 ●●様】

・特養と聞くと、どうしても暗くて、利用者様を放置しているイメージになってしまうのですが、ここは本当にしっかりとやられていると思います。

【利用者様ご家族 ●●様】

以前に仕事で韓国や中国の方と一緒に仕事をした経験があるのですが、特に食べ物合わなくて色々苦しめてしまったことがあります。帰りたいと何回も言われて、それでもなかなか問題を解決してあげられませんでした。守ってあげる術がその時にはありませんでした。かわいそうなことをしてしまった過去があります。受け入れるにあたっては、地域の方への配慮もそうですが、ぜひ受け入れる外国人へのケアもお願いします。仙台で暮らしていけるように、QOLの質をあげて下さい。

【沖野地域包括支援センター ●●様】

ほっこりカフェのご案内です。毎月4か所に分けて実施しております。第一土曜日は萩の風さん、第二火曜日はコベルさん、第三木曜日はコープさん、第四水曜日はすだちさんになります。第二木曜日ではコープさんで認知症の方の家族会を行っています。よろしくお願いたします。

次回開催: 2019年7月25日(木) 15:00～開催予定